

答 申 書

令和 7年10月31日

今金町長 中 島 光 弘 様

今金町総合計画後期基本計画策定審議会
会長 日 置 勇 馬

令和7年5月23日付けで諮問のありました、今金町の未来に向けた指針である、「第6次今金町総合計画」の後期基本計画について審議を重ね、次のとおり審議会の意見を付して答申します。

記

総合計画後期基本計画では、第6次今金町総合計画の基本構想に基づいて、まちの将来の姿を形づくるものであることから、町民の代表として各関係団体の推薦者並びに公募委員により町民の意思を反映し、役場職員との協議も行われたことで、町民との十分な協議のもと共通理解に立ち、計画的に集中した審議が行われたものと認められます。

現行の第6次今金町総合計画前期基本計画の流れを踏まえつつ、町政の施行においては町民との協働の取り組みをより強調し、急激な社会情勢の変化の中で懸念される、人口減少の課題や担い手不足、困難な行財政状況の中でもまち全体が一丸となって、更に住みよい魅力あふれるまちづくりをするためのテーマである「みんなで創る未来を拓（ひら）く物語」～人と人の想いで紡ぐ、やさしさあふれる町～を推進し育んでいこうという意志を改めて表した計画となりました。

この後期基本計画を次年度より、円滑かつ着実に施行することによって、町民生活の安心・安全で健康的に生活を営み、それぞれの個性や能力を育み発揮し、基幹産業である「一次産業」を守り、町内を取り囲む森林資源を有効的に活用した「林業の6次産業化」の推進、特徴ある自然・歴史・文化の継承、地域を支える“人”に主眼をおいた人づくりと人材育成（リーダーの育成）を全てに関わる重点的な項目と捉え、今金町全体の取り組みとして期待されます。

また、総合計画の最も重要な点となる「実行性」を確保し、地域力の確立をめざす本計画においては、地域の町民や団体・事業所、関係機関等と緊密な連携を促し、着実な計画施行の管理・推進を目標として実現に向けた努力が求められます。

貴職におかれましては、本計画を速やかに決定・実行に移せるよう、総合的且つ計画的な行政運営を着実に遂行し、町民一人ひとりが一丸となって将来への想いをつなぎ、人を育て、活気あるまちづくりが推進されるよう最善の努力をされることを希望します。

附帯意見書

- ◆現役世代（20代）の若者が定住し、交流できる場所となる“コミュニティづくり”をもとに自発的に行動したくなるような「きっかけが生まれる場所」が必要不可欠である。
- ◆子育て支援や高齢者支援は充実しているものの、現役世代に関わる支援が少なく感じる。より一層の若者世代が子育てしやすい環境と生活に関わる支援の活性化を期待する。
- ◆農業や商工業含めて後継者不足の解消が求められてきており、農業面では「儲かる農業」「スマート農業」の推進、国営事業を活用した規模拡大の重要性、商工業面では経営への向き合い方や後継者の育成が重要視され、関わる取り組みに期待したい。
- ◆住民アンケート調査をもとに、中高生の町への愛着度が高いことから、町に残るための働く場所や住環境、交流のできる場所づくり、減少する人口に合わせた活動の縮小もひとつの勇気だと感じる。そのためにも、地域で育てるまちづくりに期待したい。